

コメディカル報告

【薬剤部】

部署長：喜多洋嗣（薬剤部長）

人 員：薬剤師41名（常勤41名）

事務2名（常勤2名）

助手5名（非常勤5名）

概 要：外来調剤業務

処方監査、外来患者への、医薬品の調剤、監査、交付。

入院調剤業務

処方監査、入院患者への、医薬品の調剤、監査、交付。

院内製剤業務

院内規定に基づいて、特殊医薬品の調製。

定期処方管理業務

定期処方の処方設計、持参薬から当院処方への変更等を、医師と協働で行う。

抗がん剤混注業務

安全キャビネットを使用した、徳洲会グループ統一レジュメン、または院内キャンサーボードが定めるレジュメンに従った注射用抗がん剤及び免疫抑制剤のミキシング。

無菌製剤業務

クリーンベンチを使用した、ブドウ糖換算で10%濃度を超える高カロリー輸液のミキシング。

外来薬剤管理指導

インスリン、その他血糖調整薬、成長ホルモン、免疫抑制薬、骨粗鬆症治療薬、エピネフリン製剤などの自己注射指導、吸入指導、自己血糖測定指導、ピークフローメーター指導。

病棟薬剤管理指導業務

入院患者への、薬物療法に関する教育や服薬指導、薬効発現、副作用、相互作用、中毒症状、コンプライアンスなどに関する情報収集、薬物療法の管理、持参薬の管理、泌尿器科との合同回診。

I C U業務

I C U専任薬剤師による、I C U患者の服薬指導、薬効発現、副作用、相互作用、中毒症状、コンプライアンスなどに関する情報収集、薬物療法の管理、持参薬の管理、I C Uカンファレンスへの参加

抗菌薬適正使用支援業務

感染対策委員会と連携して、抗菌薬の使用状況の把握、抗菌薬適正使用のガイドライン作成、A S T回診。

栄養管理支援業務

N S Tと連携して、医薬品による栄養管理の情報提供を行う。

TDM解析業務

注射用塩酸バンコマイシン、テイコプラニン注射液などの血中濃度解析。

医薬品情報管理業務

添付文書の改訂、安全性情報などの医薬品情報の電子カルテへの掲載や資料配付、医薬品集作成、薬局新聞の作成。

医薬品安全管理業務

医薬品関連インシデントの解析、安全対策の検証と啓蒙。

薬品管理業務

薬事委員会開催、医薬品の購入、品質や期限の管理、用事購入管理、徳洲会本部への採用依頼の提出、棚卸し。

目 標： E Rにおける薬剤師常駐による救急外来業務の支援

緩和チームにおける薬剤師業務の拡充

抗菌薬適正使用支援業務の拡充

研修センター認定資格の取得

専門、認定資格の取得

C R C薬剤師の育成

コロナワクチン業務の支援

2020年度の取り組み・実績：

フォーミュラリの導入による持参薬の処方支援を行うようになった。それにより、入院処方の50%以上を薬剤師が処方支援するようになり、安全の向上や医師の業務負担軽減に貢献した。また、コロナ禍、コロナ治療薬の情報管理、医薬品の調達にも貢献した一年であった。

外来処方箋枚数：193.3枚／日

入院処方箋枚数：198.1枚／日

入院注射調剤本数：710.4本／日

病棟薬剤管理指導件数：2140.0件／月

外来化学療法混注件数：233.9件／月

学術業務：日本医療薬学会、日本緩和医療薬学会、日本中毒学会、日本臨床栄養代謝学会総会、日本腎薬物療法学会、徳洲会中毒研究会、徳洲会糖尿病研究会、徳洲会オンコロジー実務者会議、医薬品安全管理研修会2020年度、徳洲会薬剤部臨床業務研究会主催研修会、2020年度放射性医薬品取扱いガイドライン講習会、日本臨床救急医学会学、くすりと糖尿病学会、日本化学療法学会、徳洲会薬剤部会救急薬剤師研究会

【放射線部】

部署長：當山賢（技師長）

人 員：放射線科医師2名、診療放射線技師34名、助手1名。

概 要

1 階

RI室（SPECT装置：シーメンス Symbia Evo Excel）

2 階 放射線部

撮影室1番（TV：島津 SONIALVISION G4）

撮影室2番（骨塩定量：東洋メディック HOLOGIC DISCOVERY C）

撮影室3番（一般撮影：島津 RAD speed、パノラマ装置：朝日レントゲン Hyper-G/CM）

撮影室4番（一般撮影：キャノン MRAD-A80S/10）

撮影室5番（CT：キャノン Aquilion ONE 320列）

撮影室6番（CT：キャノン Aquilion PRIME 80列）

撮影室7番（一般撮影：キャノン MRAD-A80S/10）

撮影室9番（MRI：GE横河 SIGNA Explorer 1.5T）

撮影室10番（MRI：シーメンス MAGNETOM VERIO 3.0T）

3 階 健診センター

胸部一般撮影室（キャノン MRAD-A50S/25）

TV室（キャノン Plessart 50）

マンモグラフィ室（シーメンス MAMMOMAT Fusion）

3 階 女性外来

マンモグラフィ室（シーメンス MAMMOMAT Inspiration）

3 階 内視鏡室

TV室（キャノン ZEXIRA）

4 階 手術室・血管造影室

心カテ室1番（キャノン Infinix Celeve-I INFX-8000V）

心カテ室2番（島津 Trinias C8/F8）

アンギオ室1番（シーメンス Artis zee BA TWIN）

手術室10番（CT：シーメンス SOMATOM Definition AS 128列、
血管造影：シーメンス Artis zeego）

外科用イメージ（島津 OPESCOPE ACTENO 2台、東洋メディック Biplanar 500e 1台、
シーメンス ARCADIS Avantic 1台、）

ポータブル撮影装置（島津 MobileArt Evolution32 2台）

目 標：撮影技術の向上と新しい技術の取得。
透視検査担当技師・MRI検査担当技師の育成。
放射線科医師の増員。

2020年度の取り組み・実績：

2011年から稼働した内視鏡室透視撮影装置を日立:CUREVISTAに更新。
ポータブル撮影装置 FUJI:CALNEO AQR0を新規に1台導入。
医学物理士に1名合格。

実 績：単純撮影：59458件（健診胸部：12195件、マンモグラフィ：3090件）

ポータブル撮影：8756件

骨塩定量検査：3070件

UGI：1842件（健診UGI：1828件）

CT単純：29477件。CT造影：4169件。

冠動脈3D-CT：693件。 3D-CT処理：4055件。

MRI単純：9103件。MRI造影：815件。

心臓カテーテル検査：1196件（PCI:655件）

その他血管造影検査：334件（IVR:322件）

核医学検査：663件

【臨床検査部】

部署長：伊波敬（技師長）

人 員：総数38名

主任5名（検体3名・生理2名）

副主任8名（検体6名・生理2名）

一般検査技師24名

助手2名

概 要：外来採血室／月～金7：30～19：00

土7：30～12：30

検体検査室／24時間体制（当直制）

検査項目：尿一般、血液、生化学、免疫血清、ホルモン検査、輸血検査、細菌検査、病理検査解剖介助

生理検査／月～金7：30～20：00

土7：30～13：00

超音波検査。精密呼吸機能検査、心電図検査、運動負荷検査(TM)、ホルター心電図検査(解析)、ABI検査、脳波検査、誘発電位

目 標：患者様サービスの向上（エコー、検体検査の時間短縮）

信頼される検査室（検査結果の継続的な質の確保）

2020年の取り組み・実績：

- ・新規採用者に向けての病院採用案内を全国学校に送付
- ・病院取組のJCI取得に向けての作業
- ・検査部の体制構築
- ・（日臨技、沖縄県医師会、日本医師会）精度管理調査参加
- ・認定技師資格取得 超音波検査 4名取得
- ・内外の応援体制の強化
- ・COV19の院内検査対応

導入機器

全自動遺伝子解析装置 SmartGene(COV19 対応用 1台)

遺伝子分析装置 (TRC-)

【臨床検査部・病理診断科】

部署長：伊波敬（技師長）

病理医：小川 真紀

人 員：病理診断科4名（2021年2月より3名）

概 要：病理検査解剖介助

目 標：検査件数・解剖件数の増加

2020年の取り組み・実績：

剖検実施件数：5件

◎各種検査数

2020	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検体	13947	14962	15396	1623 7	15621	16305	15401	14536	15271	14820	12995	13371	178863
心超 音波	1026	999	971	995	970	916	890	779	807	759	709	708	9569
腹超 音波	2786	2858	2801	3072	3192	2793	2996	2743	3052	2888	2499	2522	34202
行政 PCR	0	8	11	252	745	563	637	475	514	888	416	515	5024
COV TRC	0	2	4	0	137	81	193	283	257	332	131	342	1762
迅速 PCR	0	0	0	0	0	45	69	58	92	131	119	195	709

◎病理検査数

2019	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
病理 検査	241	233	343	423	326	291	345	301	314	291	266	340	3714
細胞診 検査	163	215	336	375	370	405	479	433	548	456	414	444	4638

【臨床工学部】

部署長：仲地 勝弘

人 員：臨床工学技士29名、事務職1名

学会認定

透析技術認定士3名

認定血液浄化臨床工学技士1名

3学会合同呼吸療法認定士3名

4学会合同体外循環技術認定士3名

不整脈治療専門臨床工学技士1名

概 要：臨床工学部は2020年4月に1名の新入職者を迎え臨床工学技士は29名となりました。業務量は不整脈治療領域や医療機器管理などを主に増加傾向となりました。手術室業務では日曜待機態勢やNO吸入などを導入し、業務の幅も広がっています。また今年度はCOVID19の影響により、緊急手術や呼吸療法などすべての業務で多難を伴うも、大きな支障なく業務を遂行することができたことは、スタッフ一人ひとりの心がけと行動の賜物であり、感謝の尽きない一年となりました。

業務内容：1. 臨床支援業務

- ・血液浄化業務
- ・集中治療・呼吸療法関連業務
- ・医療機器管理業務
- ・手術室関連業務
- ・高気圧酸素治療業務（第I種装置）
- ・人工心肺を含む体外循環業務
- ・心臓カテーテル治療関連業務
- ・不整脈治療関連業務（植込み型含む）
- ・内視鏡関連業務
- ・24時間常駐体制（準深勤務）と緊急手術に対するon call体制
- ・関連施設の応援

部署目標：①良い医療の提供 ②安全な医療の提供 ③医療技術の向上

実績：（臨床工学技士が従事した業務件数）

- ① 血液浄化業務：24000件
- ② 高気圧酸素治療業務：861件
- ③ 医療機器管理業務：32225件
- ④ 心臓カテーテル関連業務：805件
- ⑤ 不整脈治療関連業務：3480件
- ⑥ 体外循環業務：119件
- ⑦ 手術支援関連業務：886件
- ⑧ 呼吸療法業務：2496件
- ⑨ 内視鏡関連業務：12119件

その他活動：委員会活動

- ・医療安全管理委員会
 - ・医療機器安全管理委員会
 - ・透析機器安全管理委員会
 - ・RST委員会
 - ・医療ガス安全管理委員会
 - ・FMS委員会
- 学会発表

【栄養管理部】

人 員：管理栄養士8名、栄養士2名
管理栄養士副主任2名、栄養士副主任1名
NST専従1名、ICU専任2名、入退院サポートセンター所属1名
調理師16名、厨房員4名、食器洗浄員4名

概 要：病棟業務

- ・栄養アセスメント、栄養評価、プランニング（経管栄養調整、食事内容調整）
- ・栄養管理計画書作成
- ・栄養食事指導（個人）
- ・NST 栄養治療計画書作成、回診、カンファレンス、委員会
- ・ICU専任業務 栄養評価、回診、モニタリング記録確認

外来業務

- ・栄養食事指導（個人）

給食業務

- ・献立作成・発注
- ・約束食事箋管理・個人対応食
- ・行事食提供（子供の日、七夕、十五夜、クリスマス、正月、節分、ひなまつり）
- ・喫食調査（毎月）
- ・嗜好調査（年2回）

目 標：癌患者への食事指導の強化

ICU患者に対する早期栄養介入の充実

2020年度の取り組み・実績：

1、栄養管理実績

- ・栄養食事指導（個人・入院）加算3099件、非加算916件
- ・栄養食事指導（個人・外来）加算334件、非加算31件
- ・健診栄養指導 2564 件
- ・栄養サポートチーム加算 472 件
- ・早期栄養介入加算2119件
- ・消化器癌患者に対する入院栄養指導件数

2、地域への貢献

- ・健康講座 6 回（今年度はいずれもオンライン）

【リハビリセンター】

部署長：川崎達哉（副室長）

人 員：理学療法士：29名、作業療法士：16名、言語聴覚士：6名、助手：1名

施 設：施設基準：脳血管（I）、運動器（I）、呼吸器（I）、心大血管（I）、がん
理学療法・作業療法・言語聴覚療法養成校臨床実習指定施設
リハビリテーション室：386.65 m²、心臓リハビリ室：82.92 m²

■理学療法（PT）

急性期のリハビリテーションを積極的に展開し、患者様に質の高いリハビリテーションを提供するため、一昨年・昨年度と人員増加を図っています。これにより、患者様一人一人にリハビリテーションを提供できる時間が増え、リハビリの質の向上を図ることが出来ています。

昨年度に比べ、年間を通して外来の患者数が減少していますが、入院件数が増加しています。特に運動器リハビリテーションの割合が増え、一患者あたりの実施単位数も増加傾向にあります。外来患者数の減少分を入院へシフトすることにより、業務を補うことが出来ました。

引き続き、がん・心臓リハビリテーション・早期離床リハビリテーション（ICU）の各専門チームを中心として、多職種連携を重視した専門的なリハビリテーション医療の提供に努め、急性期からの安心安全なリハビリテーションを実施できる体制を作っていきます。

■作業療法（OT）

急性期病院での院内の働きとして、関連チームの一員として、入院、外来患者の評価・訓練・指導をはじめ、初期カンファレンス・定期カンファレンス会議への参加、リハビリテーションの計画を立て、家族指導の実施。新卒作業療法士への指導・研修、学生への作業療法臨床実習。自宅退院前の患者に対して、住宅訪問での評価・指導・助言などを行っています。

経験の浅い職員が多数在籍しているので、入院、外来患者の多種多様な疾患、症状に対応できるスタッフを育てて、患者満足度向上を目標に、職員教育を充実できるように行っています。

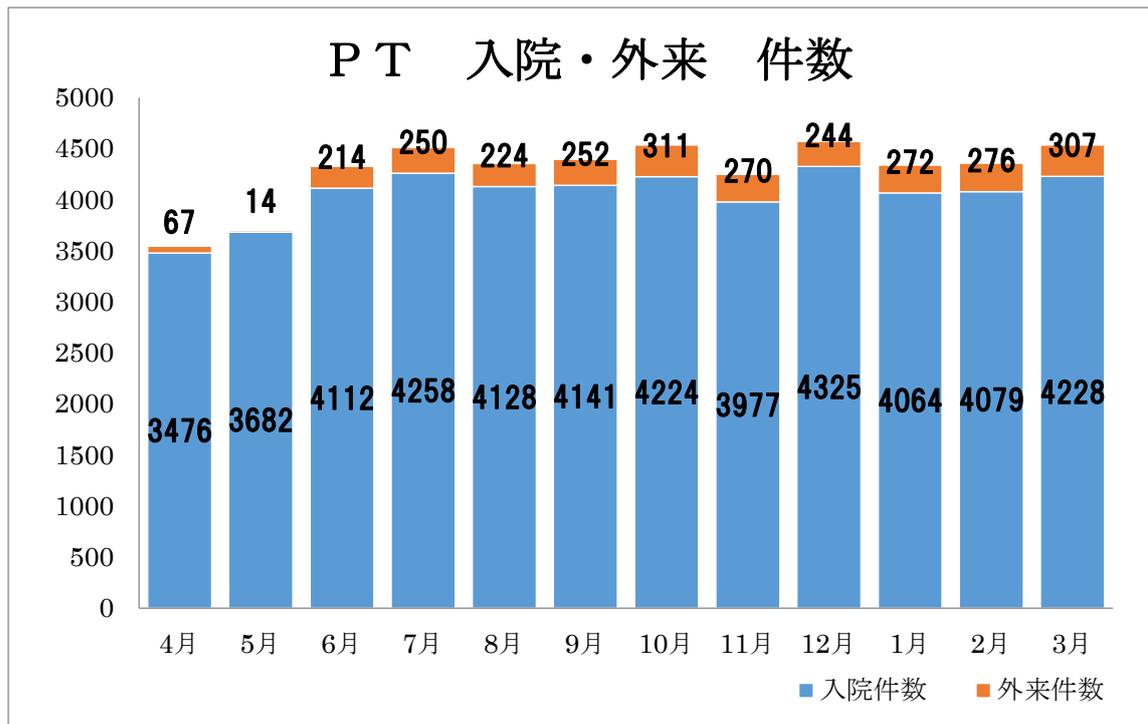
今年度より、病棟と連携してADLへのアプローチに力を入れています。より専門性を活かした取り組みで、患者様と関わっていきたいと思います。

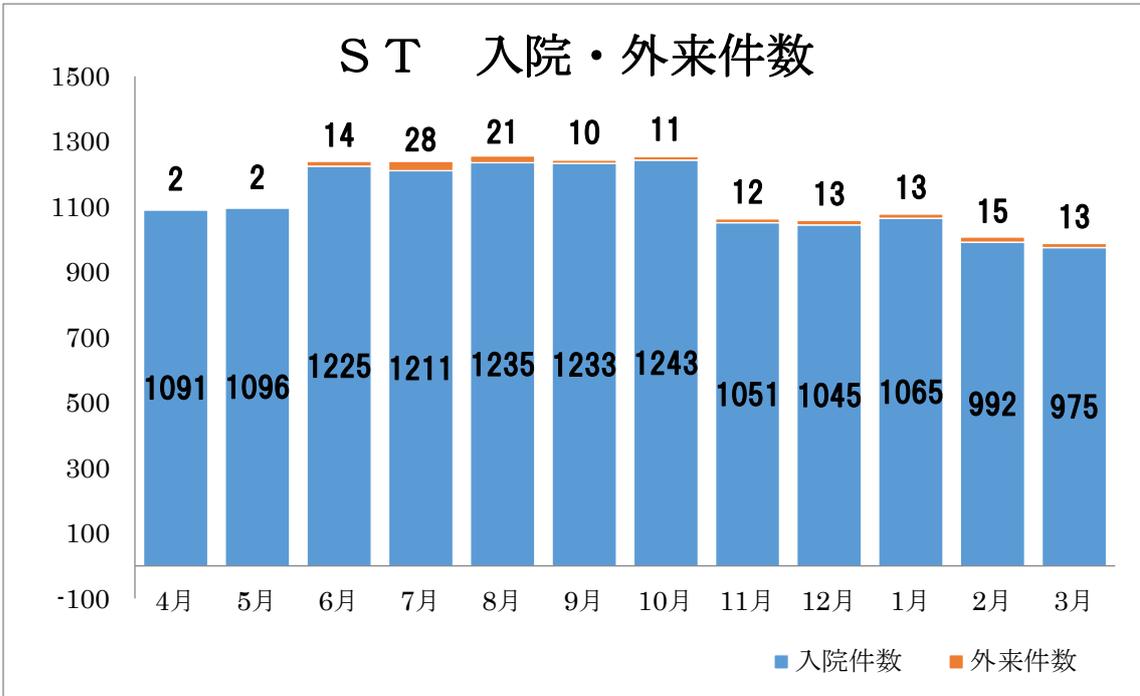
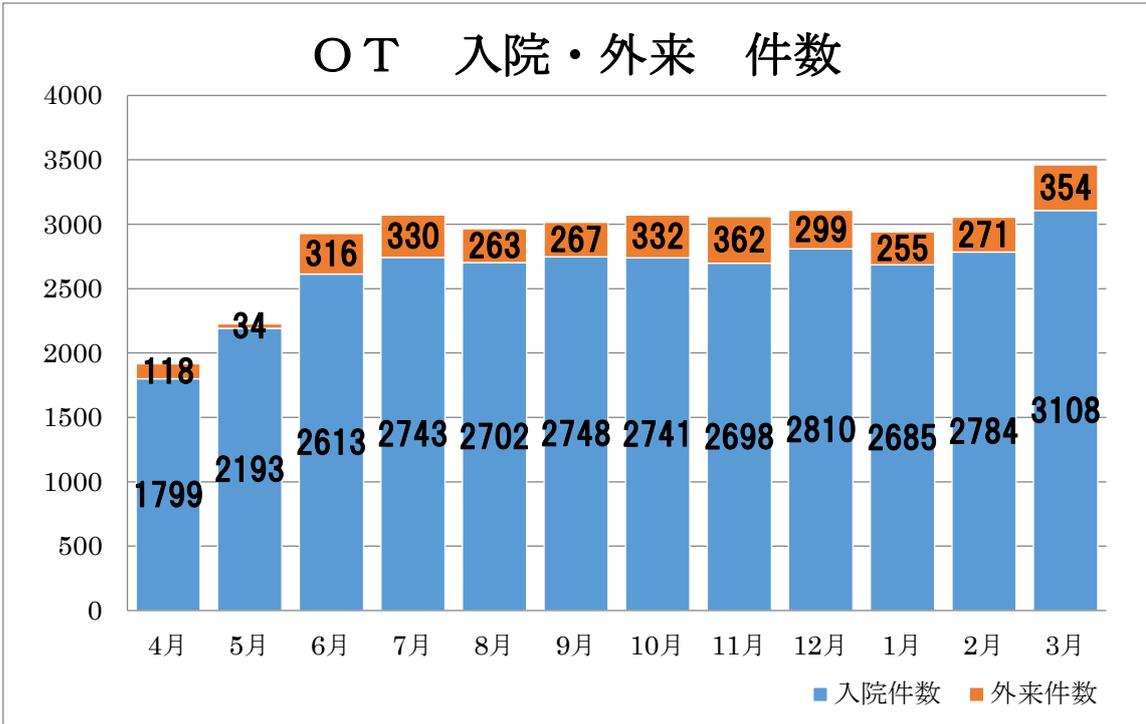
■言語聴覚療法（ST）

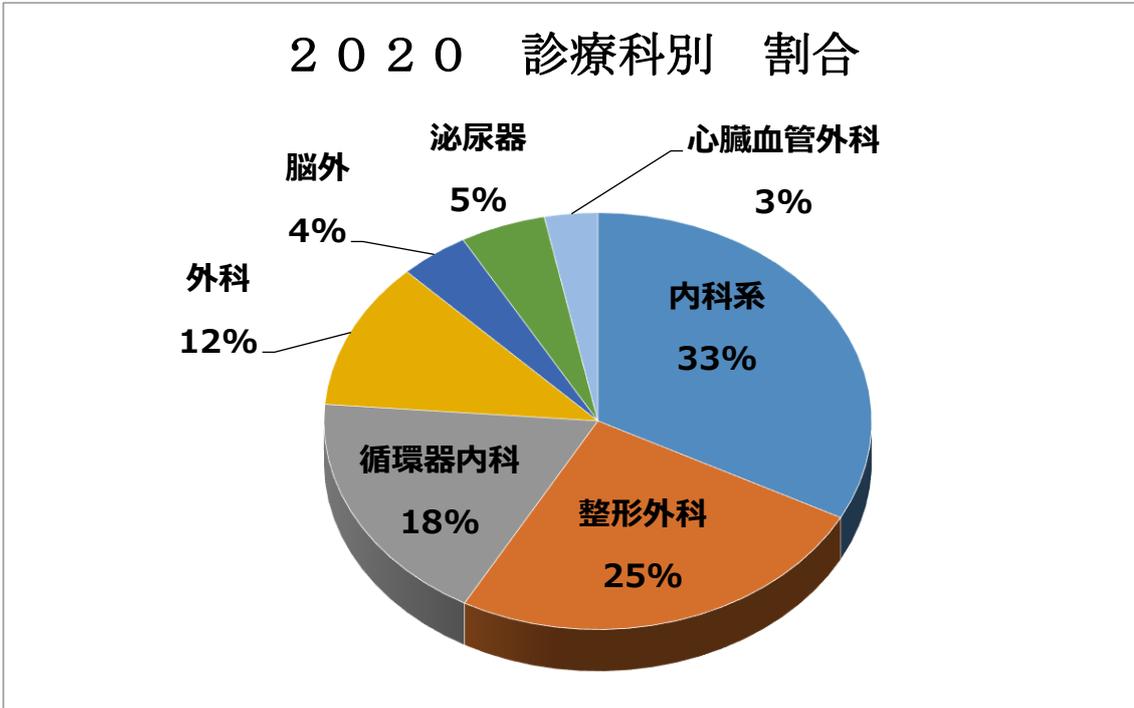
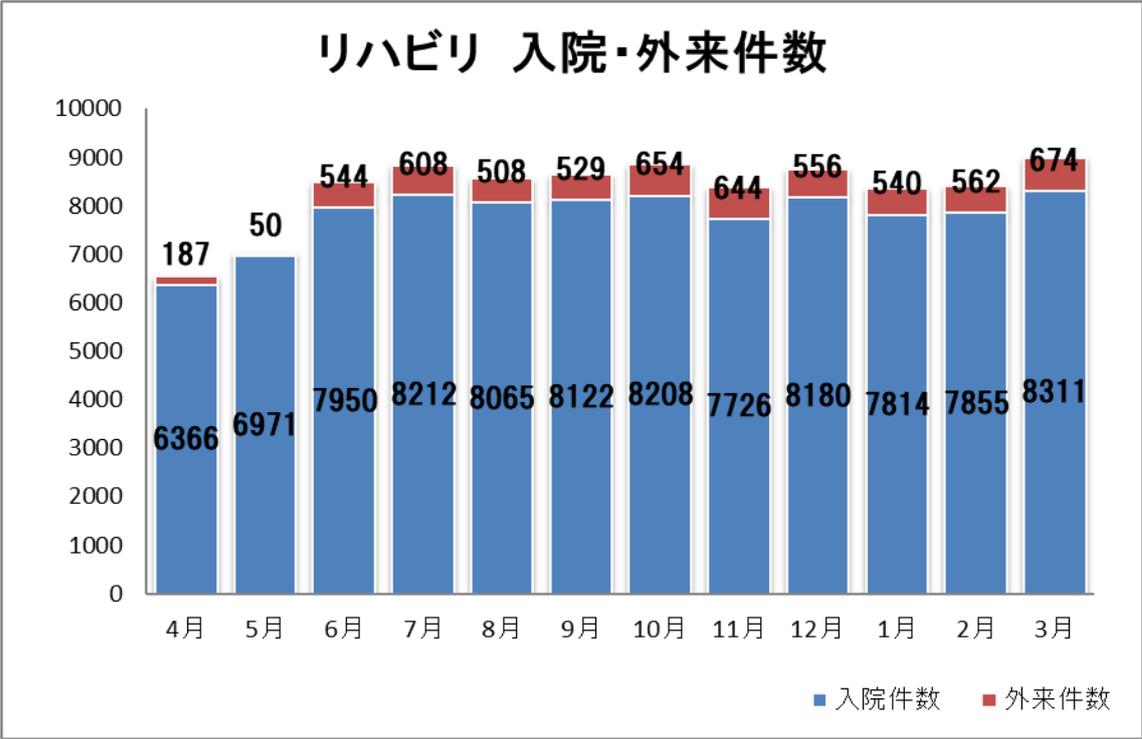
言語聴覚士は音声や言語、聴覚等のコミュニケーションに関わる様々な障害や、摂食嚥下障害のある方の評価・訓練・指導を行い、機能の回復や障害の軽減を図ります。対象とする障害には失語症・構音障害・摂食嚥下障害・高次脳機能障害・音声障害等があります。とくに嚥下に関しては発症初期からSTが介入し評価や食事の調整を行い、合併症の予防努めています。

他職種との連携も取りながら、誤嚥性肺炎の予防、安全な栄養摂取方法の確立、コミュニケーション方法の確立など患者様一人一人のニーズにあったリハビリを行っています。療法士の在籍人数も増加しており、互いに技術・知識の向上・共有を行い、患者様へよりよいリハビリが提供できるよう、取り組んでいきます。

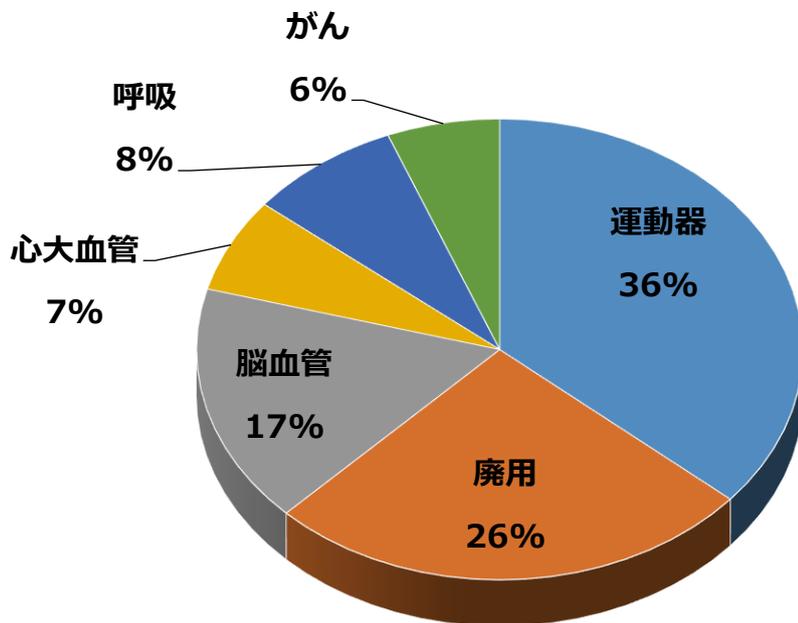
◎利用者統計（入院・外来）



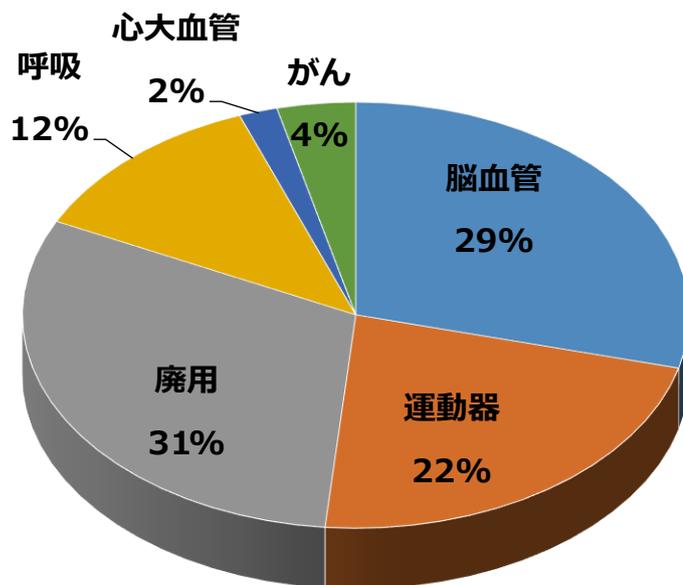




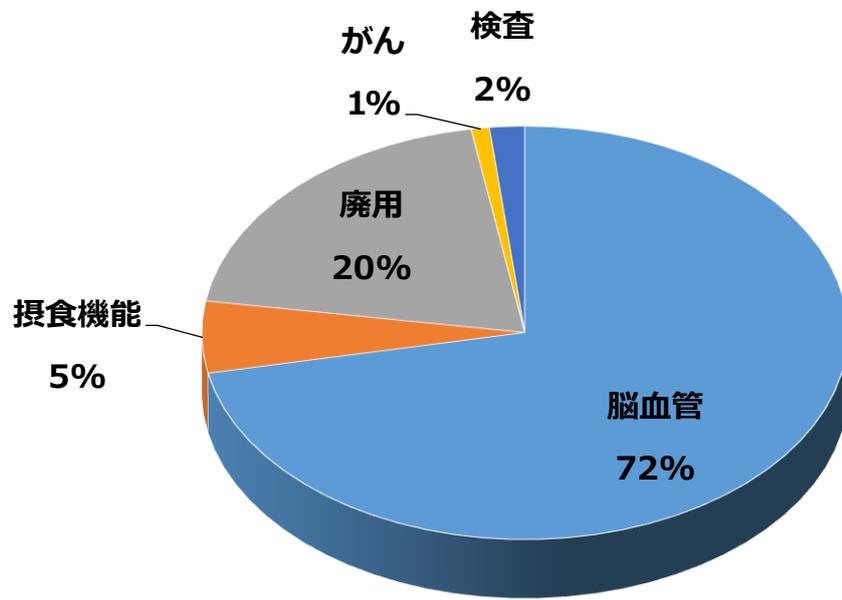
PT 算定別割合



OT 算定別 割合



ST 算定別割合



【臨床試験部】

部署長：伊禮武（治験センター長）

人 員：・CRC（専任）7名：薬剤師2名、看護師1名、臨床検査技師4名
・CRC（兼任）2名：薬剤師1名、看護師1名
・事務局1名：総務課1名

概 要：治験とは、新しい薬を開発するためにはさまざまな試験が行われ、その最終段階では人での有効性や安全性を確認する必要があります。そのための試験を「治験」といいます。「治験」は医薬品として国から承認をうけるために必要な試験で、現在使われている薬もこのような過程を経て世に出ています。

治験コーディネーター（CRC）の主な業務は被験者のケアを中心とし、治験参加のための同意取得補助、来院日程等のスケジュール管理、診察の立会い、有害事象の確認や発生時の迅速な対応、被験者の問合せに関する対応などを行います。また、検査データの収集や症例報告書の作成補助、モニタリングなどの治験依頼者の対応を行います。

事務局では主に、治験の受託から終了までの文書作成・保管管理、治験依頼者と治験担当医師との連絡打ち合わせ調整、治験審査委員会の資料作成などの事務作業を行っています。

目 標：治験業務をさらに向上させると共に臨床研究の支援も積極的に行います。また、業務全体を見直し、プロセス管理による業務の効率化と試験データの品質の向上に取り組んでいくことを目標としております。

2020年度の取り組み・実績：

2020年度は、継続中の治験5件と新規に脂質異常症の治験を開始し、新型コロナウイルス感染症関連の治験にも参加しております。また、臨床研究では、直腸癌、アルコール性肝硬変、尿路結石症などの研究やレジストリー研究に参加し、修復腎移植の徳洲会グループ共同研究も開始しております。

治験実績

	フェーズ	診療科	対象疾患	初回契約数	実施症例数	備考
2018年	Ⅲ	泌尿器科	腎性貧血	3	3	終了
	Ⅲ	泌尿器科	腎性貧血	1	1	終了
	Ⅲ	内科	慢性心不全	3	1	終了
	Ⅲ	内科	慢性心不全	8	8	実施中
2019年	Ⅱ	脳神経外科	脳梗塞	3	1	実施中
	Ⅲ	内科	うっ血性心不全	4	3	終了
2020年	Ⅱ	内科	COVID-19	12	5	実施中
	Ⅱ	内科	慢性心不全	2	0	実施中
	Ⅲ	内科	脂質異常症	4	0	実施中
製造販売後調査		高血圧症、肺高血圧症、糖尿病、抗不整脈、抗てんかん薬、抗菌薬、抗悪性腫瘍薬、脳梗塞、脳血管疾患、ステント、慢性腎臓病、抗リン血症、全身性エリテマトーデス、尿路上皮癌、関節リウマチ、白血病、潰瘍性大腸炎、クローン病、再生不良性貧血				
臨床研究		SNP解析共同研究、高血圧症、COPD、膀胱がんペプチドワクチン療法、修復腎移植、脂質異常症、糖尿病網膜症、PGx研究（ワルファリン、カルバマゼピン、タモキシフェン）、インフルエンザ、乳がん、大腸がん、胃がん、肺がん、STS（シャントトラブルスコアリング）、MEWS（修正早期警戒システム）、夜尿症、ATL（成人T細胞白血病・リンパ腫）、PHN（発作性夜間ヘモグロビン尿症/SUPREMACY）、CDI（クロストリジウム・ディフィシル腸炎）、糖尿病（SUCRE試験）、肺がん（LC-SCRUM）、糖尿病（EMBLEM試験）、リチウム中毒、NEWS-RRS（ナショナル早期警戒システム）、カテーテルアブレーション（KYU-RABLE研究）、深部静脈血栓症、コンパートメント症候群、後腹膜線維症、冠動脈疾患コホート、冠動脈疾患ゲノムコホート、先天奇形症候群、疾患ゲノムコホート、脊椎手術、COVID-19、透析患者調査、経肛門的直腸切除、アルコール性肝硬変				